

転入教職員紹介 ～いたてむらの新しい先生方～

4月1日、教職員の人事異動により、飯館村の3つの小学校と、中学校に、合わせて20人の先生が転入されました。

たっぷりほめる
しっかりしかる

教育のページ



(左から 原伊津子養護教諭、高橋明子先生、渡辺航太先生、石井純先生、加藤裕紀教頭)



(左から 加藤真理子先生、加村育夫校長、佐々木サキ子先生)



(左から 板橋優子先生、伊藤和文先生、志賀陽子先生、紺野聡子先生、岩佐佳代子先生)



(左から 大室圭次郎先生、門馬いずみ先生、原田桂子先生、常松なつみ先生、山田菜穂子養護教諭、大和田早紀先生、大内利典教頭)

農業委員会からのお知らせ

《 農地等の相談は地区担当農業委員へ！ 》

◆ 何かありましたら地区担当の農業委員へご相談下さい。

農業委員会は、「農業委員会等に関する法律」に基づいて、市町村に設置が義務づけられている行政委員会です。その大きな特徴は、公職選挙法を準用した選挙によって選ばれた農業者の代表を中心に構成されています。何かありましたら気軽に地区担当委員にご相談ください。

地区担当委員

草野	八巻 誠	電話番号は個人情報のため非公開	飯 樋 町	古川良一	電話番号は個人情報のため非公開
深谷	末永瑞夫		前田八和木	小林 稔	
伊丹沢	山田利江		大久保外内	坂本栄寿	
関沢	庄司敏彦		上 飯 樋	鈴木秀範	
小宮	大谷義時		比 曾	菅野和彦	
八木沢原・関根松塚	高橋文男		長泥・蔵平	高橋繁文	
大倉	渡邊芳孝		白 石	山岸安博	
佐須	菅野宗夫		前 田	伊藤隆三	
宮内	北原 経		二枚橋須萱	山田猛史	

【4月1日より農地法第3条の一部が改正になりました。】

◆ 農地を耕作目的で売買あるいは貸し借りする場合、改正前は村外居住者の許可は県知事許可でしたが、4月1日より農業委員会の許可となりましたので、お知らせします。

○お問い合わせ：飯館村農業委員会事務局 TEL024-562-4219

子育て相談室 ～お気軽に相談ください～
子どもの義務 その1

子どもにも大人同様、人間としての義務が課せられています。往々にして、社会では子どもの権利のことだけが言及されますが、子どもにも「しなげ」はならないことがあるというのを忘れてはならないと思います。私は子どもの中の義務の中で最も大切なものが「よく生きる」とあると信じています。

よく生きるとは、希望(夢)の中に生きることです。希望を持つからこそ豊かな人生が訪れます。希望を実現するためには努力が必要です。誰もが知るように努力なくしてよく生きることは困難です。ところで、私が今、最も気にかかっているのは、飯館村の小・中学校に学ぶ子どもたちの学力の問題です。避難先の学校では必ずしも正常な授業が成立し難かったのは明白です。家庭でも家の構造の問題などの諸事情から家庭学習が思うようにはできなかったようです。必要な学力の水準の確保は容易ではなかったろうと想像しています。

そうであっても、よく生きるために子どもたちは学ぶ努力を怠ってはならないのです。学習意欲を高める義務であるはず。

しっかり学ぶ子どもたちを育てましょう。一定の学力の水準を確保することが子どもたちの希望の実現を保証します。よりすぐれた学校の導きと保護者の方々の意識的なかわりを期待します。

飯館中学校スクールカウンセラー
臨床心理士 海野 和夫



▲佐須行政区が整備した平太鼓



▲20区自主防災会のテント

(財) 自治総合センターが宝くじの社会貢献広報と地域の活性化のために行う「平成23年度コミュニティ助成事業」の補助を受け、村内の行政区・団体が伝統芸能保存やコミュニティの活性化のため、衣装や机・イス、太鼓などを整備しました。

団体名	整備した内容
水芭蕉会	合同運動会をはじめとする各種イベント用の机・イスの整備
比曾行政区	コミュニティの充実・伝統芸能の継承のため三匹獅子舞用の衣装や備品と放送設備一式、除雪機の整備
佐須行政区	虎捕太鼓のより一層の活性化のため、太鼓、ドラ等の備品の整備
20区自主防災会	災害等に対する備えを充実させるため、テントや机・イス、メガホン等の整備



23年度コミュニティ助成事業実績